

教材紹介

教材名	教材写真	教材の説明
さかなをつくろう		初めに水族館の魚を見てから制作を行う。半透明のビニール袋、丸型シール、マジック、お花紙、ラッピングタイを使う。魚の色を出すお花紙は児童が選ぶことができるように数種類準備する。 【小学部 図画工作】
くらげをつくろう		プラスチック製のカップをくらげの胴体に見立て、丸型シールに黒丸を描いたものを貼り目を作る。カップの中には色付きの透明折り紙を入れ色を付け、20cm程の紐を数本付けて触手にし垂らす。最後に水切りネットでカップを覆い完成！ 【小学部 図画工作】
名前づくりゲーム		絵を見て、1文字ずつ書かれた平仮名カードを組み合わせて名前（単語）にする教材である。選んだ平仮名カードが動かないようにカードとワークシートのマジックテープを貼っている。 【小学部 国語】
イラストと言葉のマッチング		身近なものや動作のイラストと単語（文字表記単語）とをマッチングする教材である。また、マッチングを通して、ものの名前や動作を言葉として表現することにつながり、日常生活での言葉（発語や文字カード）を介したやりとりにつなげることを目指している。 【小学部 国語】
ゴムビーズ		自分で腕を伸ばしものに触れ、手に引っ掛け引っ張ることで、ものがある、ないに気付くことができる教材である。ゴムにビーズを通して作ったものであり、本人が力を入れて引っ張ることでその動きに合わせて動くことや、手に触れた感覚から握るなどの力を加える動きが引き出せる教材となっている。 【小学部 算数、自立活動 身体の動き】
紙タンバリン		リズムの学習の時に使用する教材で、中に鉄製のコインが数枚入っていて、振るとカシャカシャと音が鳴る。楽器のタンバリンでは手首の返しや細かな動きがないと出しにくい音も、自分の動かすことのできる動きで音を出すことができる。 【小・中学部 音楽】
カラフルキャップ		「赤」、「黄」、「青」のシールが貼られているペットボトルキャップが磁石でホワイトボードにくっついており、その中から指定された色を選んで指先でつまんで取るマッチングの教材である。 【小学部 算数】
磁石キャップ		磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを手で感じとることができる教材である。生徒が操作しやすい大きさにするため、磁石を2つのペットボトルキャップで包んで作っている。 【中学部 理科】
植物の観察日記		Googleスライドを使用して観察記録を入力するためのテンプレートを作成している。テンプレートにすることで、どこに何を入れればいいのかが生徒に分かりやすく、整理をすることが易しくできている。生徒が写真や文章を入力して時系列で作成でき、最終的にプレゼンテーションのツールとして使用できる教材である。 【中・高等部 理科】
植物の観察日記 (生徒がまとめたもの)		Chromebookで「植物の観察日記」に、観察した内容を生徒の実態に応じて文字入力だけでなく音声入力も使用し記録していく。また、Chromebookやデジタルカメラで撮った映像を簡単に挿入し、時系列に並べることで変化に気付くことができる。そして、観察記録を1枚のスライドに記録して蓄積し、活動を振り返りながら気付いたことを発表できるツールとして使用している。 【中・高等部 理科】
足置きさん		足裏を付けて安定した姿勢で、書字や制作などに取り組むことができるように、座位時に足を置くことのできる教材である。足を置く面には滑り止めが施されていて、床の設置部分にはテニスボールを装着し移動時に出る音を抑えている。 【日常生活】